

日本設備工業新聞

発行所
 (株)日本設備工業新聞社
 東京都渋谷区桜丘町10-13
 〒150-0031 野元第1ビル
 電話 (03) 3496-4774代
 FAX (03) 3464-1884
 info@setubikogyo.co.jp
 (購読料郵税共) 年額8,000円



TOTO
 きれいな除菌水のチカラで、
 毎回手間なし除菌。
 2017年8月 発売予定 | NEW
NEOREST
 詳細は弊社カタログ、HPをご覧ください。

万全の新体制を確立

東管協組執行部が所信表明

東京都管工事工業協同組合(佐藤章理事長)は七月七日、港区赤坂の東京都管工事会館で記者会見を開き、第三十六期組織・業務運営要領について説明するとともに、佐藤理事長をはじめ新執行部の所信を表明した。万全の体制を確立したことを踏まえ、組合員の加入促進など平成二十九年通常総代会で決議した四大スローガンの着実な実現をめざす。当面の最重点課題として東京水道あんしん診断業務と人材力支援事業に全力で取り組んでいく方針だ。

診断業務・人材支援に全力

記者会見には佐藤理事長、小堀三副理事長、宮崎文雄副理事長、石井正治副理事長待遇、五十嵐隆総務部長、宮城美貴専務理事が出席。宮城専務理事の司会で組合



東京都管工事会館で記者会見

それぞれ抱負を語った。今期の組合運営機構は役員業務負担の平準化を図る観点からメンテ・業務を分離し、新たに総務、技術、メンテ、事業の四部門で構成。総務は福田義次副理事長、技術は小堀副理事長、メンテは宮崎副理事長、事業は石井副理事長待遇が担当する。定款に基づき石井氏は副理事長待遇と位置づけ、来年度の総代会で定款を変更し、正式に副理事長に就任する。専門部会は従来どおり総務、経理、技術、単門からなる。役員業務の六部門からは総務部長に五十嵐氏、経理部長に木一民氏、技術部長に上杉貴志氏、単契部長に藤田克仁氏、メンテ部長に新家功一氏、事業部長に宮坂良弥氏を選任。また共同受注委員長に岩野隆一前理事長、共

同受注検査委員長に宮崎副理事長が就任した。新体制について佐藤理事長は「安心して業務を遂行できる万全の体制を整った。新任の方も多く新鮮に感じている。とても頼もしく即戦力となる素晴らしい布陣だ」と期待を示し、五月の通常総代会で採択した①加入促進に積極的に取り組もう②災害時対応に万全を期しよう③若年技能者の確保・育成に組織を挙げて取り組もう④共同受注業務の円滑な推進に努めようの四大スローガン実現に積極的に取り組む姿勢を示した。そのうえで「皆さまのご協力を賜りつつ課題解決に向けて着実に職務を遂行したい。役員一丸となり、成果実現に邁進する」と力強く決意を表明した。これを受けて小堀副理事長は「若年層が少なく事業を活用し、組合が主体となって技術者・技能者を育成したい」、宮崎副理事長は「あんしん診

民間セクター分科会を新設

国交省 検討会 下水道PPP/PFI推進

国土交通省の「下水道における新たなPPP」

PFI事業の促進に向け「検討会」は七月四日、東京・神田の日本下水道協会会議室で第一回「民間セクター分科会」を開催した。コンセッション方式などのPPP/PFI手法の導入促進に向け

た論点や課題を整理し、今年度末をめどに検討結果をまとめる。地方公共団体の執行体制の脆弱化や財政状況の逼迫、老朽化施設の増大が進み、下水道の機能・サービス水準をいかに確

保していくかが急務の課題となっている。未来投資会議など政府の主要会議でもコンセッション方式(施設の所有権を移転せず民間事業者が運営権を付与する方式)を含む多様なPPP/PFI手法



関係企業が集い初会合

このため地方公共団体を対象とした同検討会では受託者である民間企業の今後の事業展開を見据え、新たに民間視点の分科会を設けることにした。参加企業としてメタウォーター(株)、ウイング(株)、クボタ、月島機械(株)、積水化学工業(株)、西原環境、(株)水コン、(株)NJS、新日本有限責任監査法人、PWCアド

バイザリー合同会社などが名を連ねている。初会合では国交省の任本端下水道企画課長が冒頭あいさつに立ち「民間目線で課題に向き合っていたら、皆さまの意見を行政に反映させていきたい。人口減少や高齢化が進む中、国内外の市場を拡大していくには皆さまの活躍が不可欠だ」と述べ、積極的な議論を促した。

法が活発に議論され、民間企業の事業機会の創出に期待が高まっている。

九州北部の豪雨災害により無念にも亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げ、一日も早い復興をお祈り致します。

(株)日本設備工業新聞社
 広告掲載社
 購読者一同

替えたら、変わった。

マンションの設計でMC5型を提案。
 結果、省エネでオーナーにも大変喜ばれました。
 (施工者)

省電力
30%削減!
 (当社比)

【計算条件】 某マンション 総戸数111戸、地上13階建、ポンプ口径50A、ポンプ出力7.5kW
 ※従来型MC4と比較して

TERAL



第12回エコプロダクツ大賞
 エコプロダクツ大賞審査委員長
 特別賞受賞

テラルの新コンセプト「Triple e」による高効率を追求するテラル



静音 5dBダウン (当社比)
 騒音が最大
軽量 32%ダウン (当社比)
 最大60kg 低減 新型 MC5-5050-2.2AD 125kg
 従来型 MC4-5050-2.2D 185kg

低振動
 防振ゴムにより
 ポンプ振動を絶縁



直結増圧給水ユニット MC5型

省エネ・静音・低振動で選ばれる増圧給水ポンプ。
 くらべれば、テラルのMC5。